

## 水稻リモートセンシング実演会の開催

～ドローンによる生育診断で収量向上を目指す～

夷隅農業事務所改良普及課 令和3年8月16日発

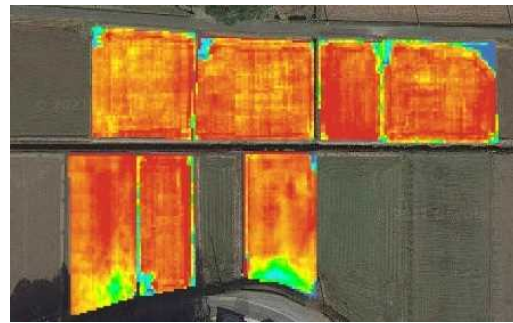
夷隅農業事務所では、勝浦市内の水田で、ドローンによる水稻リモートセンシングの実証試験を行っています。ドローンに搭載した特殊なカメラで水稻を撮影し、そのデータを次年度の施肥に活用することで、安定した生育と収量を得ることが目的です。今回は、6月24日に初回（幼穂形成期）、7月21日に第2回（出穂期）の撮影を行いました。ドローンには事前に飛行ルートが設定されており、約10haの水田を2時間弱で撮影を終えました。後日の解析の結果、ほ場ごとの生育量の傾向が明らかになりました。

初回の実演会には、地元農家や関係機関11名が参加し、業者からの説明を受けました。参加者からは、価格や農薬散布等へのドローンの活用等について質問がありました。

今後は、収量コンバインや施肥田植機の実演も予定しており、スマート農業技術を活用した水稻の安定生産について、普及を進めていきます。



説明を聞く参加者



生育状況の解析データ